

2022年度 幸福の科学学園関西中学校・高等学校 学校評価

本年度の学校目標

<ul style="list-style-type: none"> ・「高貴なる義務」を果たす、「徳ある英才」を育てる。 ・宗教教育によって、神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った人材を育てる。 ・規則正しい生活習慣と学習習慣の確立により、学力向上を目指す。
--

	領域	重点評価項目	教職員	生徒	学校関係者	総合評価	備考
1	学校経営	学校では、宗教教育を基に神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った「高貴なる義務」を果たす人材づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、学習活動、学校行事、部活動などで特色のある教育活動が行われている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
2	学習指導	カリキュラムは、生徒の学力・個性を伸ばし、将来の希望を実現するように工夫されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、授業の中で教材や教え方に様々な工夫をし、学習する内容をていねいに指導している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、より高いレベルを目指す生徒へ配慮した教科指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
3	生徒指導	学校は、宗教科の授業などで、仏法真理に基づいて、善悪の判断や他人を思いやる心を育てている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の自立・自律する気持ちを大切に生活指導を行っている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、適切な人権教育を行い、人権が尊重される学校づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に対して、挨拶・服装・遅刻などの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
4	進路指導	学校は、生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に必要な進路情報や資料を収集し、適切に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に大学進学に向けた実力養成の機会(講習・模試など)を十分に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、あなたの文系理系の選択や科目の選択について十分に指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
5	特別活動等	体育祭や文化祭(翔龍祭)など、生徒にとって有意義な学校行事を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校の部活動は、顧問の指導の下、活発で有意義な活動になっている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図り、学校生活をよりよいものにしていく。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
6	保健・安全管理	学校は、交通安全・防災・健康教育に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
7	教育環境	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
8	事務・管理	学校は、教育活動に必要な備品、消耗品についての整備をしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、個人情報の管理を含め、適切な文書管理を行っている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
9	保護者・地域との連携	学校は、地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源を活用し、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	B	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、保護者の意見を聴き、積極的に保護者会活動を推進している。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、さまざまな機会を通して、地域との連携を深めるように努めている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、文書やメール、ホームページなどによって、学校の情報を保護者や地域の人々に適切に伝えている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者

2022年11月21日(月)～2022年12月20日(火) 教職員、生徒、学校関係者にアンケート形式で実施

評価表の見方 本年度の教育活動に対する総合評価をABCDEFの6段階評価で示す

- ・評価者は教職員・生徒・学校関係者の3者を原則とするが、一部、3者によらない例外も設定されている。
- ・ABCDEFの基準は、アンケートを集約した結果、肯定的な評価(85%以上)=A、(85%未満～70%以上)=B、(70%未満～55%)=C、(55%未満～40%)=D、(40%未満～25%)=E、(25%未満～)=Fとする。

2022年度 学校評価に対する分析・総括および保護者の皆様のご意見に対するご回答

2022年度の学校評価に対する分析と総括をさせていただきます。また、学校評価アンケートにおいて、保護者の皆様から頂戴しましたご意見・ご要望の中から、いくつかの項目をご回答いたします。

【分析・総括】

2022年度は全体を通じて、概ね肯定的な評価となり、総合評価はすべてAでした。

教職員の評価では、「学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。」がBでした。学習の遅れがちな生徒には補講や、個別対応を行っていますが、まだまだ十分とは言えず、教員として申し訳なく思っております。個別対応にも限界がありますので、課題の工夫など更なる配慮を考えてまいります。

また、「学校は、生徒の自立・自律する気持ちを大切に生活指導を行っている。」がBでした。生徒が自立しようとするとき、必ず自由と規律で葛藤します。仏法真理に基づき、自由には責任が伴うことを理解し、鏡川竜二のように自分を律して努力を重ねる人へと成長するよう、生徒一人ひとりに寄り添いながら、指導してまいります。教職員自身も修行を重ね、自己変革に努めてまいります。

生徒の評価では、「学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。」がBでした。2022年度は、生徒のリクエストに十分こたえられず、新刊も入るのが遅れがちだったため、改善をしております。また、図書館のレイアウトや推薦図書のコナーの充実など、生徒の知的好奇心を掻き立てるように工夫をする予定です。

【ご意見・ご要望】

○子供からの連絡が無いので、学校の様子が全くわかりません。学校での様子や成長の度合いなどが分からないまま、時間が過ぎていくのは親として少し寂しく思います。

○学校行事以外の日常の様子を保護者に発信していただけるといいなと思います。

⇒ 生徒の普段の様子を、お伝えしきれておらず、申し訳ございません。特に寮生は親元を離れているので、ご心配なことも多いかと存じます。各学年では学年通信や学級通信を発行し、寮からは寮生活の様子をメールやホームページでお知らせしています。また、関西校のホームページでは、最新ニュースや、公式ツイッター、部活動ブログなどをアップしておりますが、行事や部活動の発信が多いので、普段の様子発信回数も増やしてまいります。また、時折、担任や寮職員から普段の様子をお伝えできるように努めてまいります。

○プリント類や副教材の量が多くて、こなし切れていないように見受けられます。全く使用されていないものもあり、こんなに必要なかと少し疑問に思いました。

⇒ そういうことのないように各教科でチェックしておりますが、習熟度に分けている教科では、クラスが変わると使用しなくなるものもございます。折角購入していただいた教材を無駄にすることのないよう、教材の選定を厳しくし、使い切るよう、更に心掛けてまいります。また、生徒の活用状況を確認し、進んでいない場合はしっかりとフォローをいたします。

以上